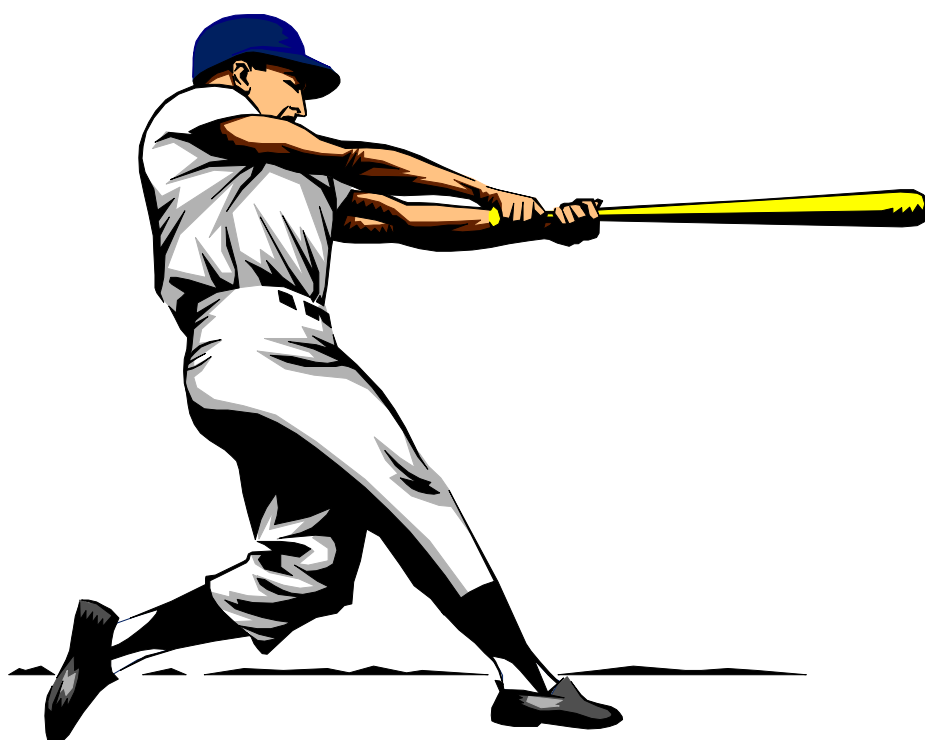


平成19年9月16日発行  
名古屋ウエスタズ  
Vol.83

# 月刊ウエスタズ



平成19年9月号

## はじめに

今年の合宿も無事終わりました。  
ご父兄の方々、本当にありがとうございました。  
選手の皆さんのこれからの活躍期待して  
ください。  
皆さんもう後半戦です。  
合宿・練習で学んだことを試合で十分発揮して  
ください。  
期待しています。

## 合宿を終え 各チームコーチより一言

### Aチーム 広田コーチ

Aチームでコーチをやらしてもらってます、広田です。私自身、今回のウエスタズ夏合宿は、数えて見ると、6回目になりました。4人兄弟の上2人は、合宿を何度か経験し、無事卒団、また中学でも部活ですが野球を続け、長男は現在、高校野球をやっています。

(次男はどうも高校ではやらない模様・・・(>\_<)) 4人兄弟の下の2人が、現在ウエスタズにお世話になっています。

今年の夏は、例年に無い猛暑の為、選手は勿論の事、監督、コーチ、母、小さなお子さんも非常に大変だったと思いますが、後、夏も残りわずか(残暑も厳しいとおもいますが・・・)

頑張ってください。今回の合宿は非常に暑かったせいもあり、倒れる選手も何人かいましたが、なんとか3日間やり遂げる事が出来たと思います。Aチームの今回の最大の合宿のテーマは、小川原監督の提案した素振り6000スイングでした。

【3日間で6000スイング】選手たちは、かなり頑張ったと思います。合宿中、監督の話の聞くと【多少の形はいいから強く振れ!】つまり、バットスピード ヘッドスピードの必要性!Aになると、かなり相手投手でも本格的な送球派が増えます。ヘッドスピードが遅いと、かなりタイミングを前にあわせなければ、スイングが間に合いません。ヘッドスピードが早くなれば、ちょっとでもボールを引き付ける事ができます。そう言う意味でも素振りでバットが軽く感じるぐらい、日々の素振りを繰り返しやっていけば、選手個々の能力の違いはあるとはいえ、ヘッドスピードが遅くなっていく事は絶対にない。毎日素振り100回でも、200回でも繰り返し努力して振るこ

とが、いかに必要かと選手には絶対わかってもらいたいと思います。よく野球の解説の中で【今日はバッティングをさせてもらえませんか】と言う解説者の言葉をよく聞きます。それは【自分のタイミングで打てない】【バッテリーボックス内でいつもの素振りができていない】と言う事です。少年野球では、投手は速い球か遅い球、2種類しか投げることができません。どちらの球が来ても、なるべく引き付けてスピードスイングで自分の素振りをバッテリーボックスでやれる様、日々の努力をおこたらないようにして下さい。そう言う意味で合宿での素振り6000非常に重要だったと私は思いました。また100本ノックでは途中雷で中断になりましたが今年も感動がありました。やっぱりいいもんですねえ~最後の最後まで声を頑張ってくださいドロドロになりながらボールを追いかける姿は何ともいえません。選手個々の能力は色々ですが100本のノックを受けて、投げるまで終わらないそういう意味でも100本ノックはキャッチボールと一緒にぐらい大切なことだと思います!プロの選手でも打撃やピッチングの調子が上がらない時などかなりのノックを受けて、足腰を鍛える意味でもあるのですが「ボールを追いかける」そして打撃やピッチングの調子を上げていく練習方法があります。野球の原点ですね「キャッチボール」と「ボールを追いかける」は・・・

また、古い話ですが小川原監督の17期生のAとして最後の合宿の時、合宿を起点に非常に強いチームになったというのを今でも鮮明に覚えています。今のAチームの選手にも本当にそうなって欲しいと思います。強いチーム目指してAチームの皆最後まであきらめるな!!最後に余談ですが、宿舎でのコーチ達の様子ですが私があまり梅村コーチと話せなかったので、今年はコメントは控えさせていただきます(^\_^)

### Bチーム 森山コーチ

まずはじめに、臼井代表、藤井総監督、A・B・Cの監督をはじめコーチの方々、日頃からの御指導誠にありがとうございます。また家事、お仕事等でお忙しいなか選手のバックアップをしてくださってる母のみなさん、特に今合宿においてAチームの母方には、合宿所でのお世話など大変ありがとうございました。さて、選手諸君!今年の合宿はどうでしたか?上級生は下級生の面倒を良くみれましたか?逆に下級生は上の人言うことをちゃんと守れましたか?今年初めて参加し

た選手又何回か参加した選手もいると思いますが、合宿所で野球が大好きな先輩後輩とともに生活し、野球漬けの三日間楽しかった事、辛かった事色々あったと思いますが、野球以外で学んだこともたくさんあったと思います。これから先もこの夏合宿は永遠に続いて行くと思いますが、野球の時ばかりではなく、何処にいても礼儀正しい人になれるように心掛けてください。

Bチームの選手へ、この合宿に参加して辛い練習を乗り越えて来た君たちは、少なからず気持ち、技術面での変化があったと思います。特にウエスタンズ恒例の100本ノックにおいては、新しく入団してきた選手がノック1本、1本を最初からあきらめる事なく捕球はできなくても飛び込んでとる姿、以前からウエスタンズにいる選手、何か反省させられるところがありませんか？技術は去年に比べだいぶ上達していますが、「絶対あきらめない気持ち」が少し薄れてきてると感じました。君たちはまだまだ可能性が 있습니다。普段の練習の時からもっと思い切って野球をやってみてはどうですか？その中で今まで自信がなかったプレーもできるようになり、きっといい結果につながると思いますので、これからも練習を練習と思わず常に本番と思って一生懸命頑張ってください。

さてBチームは合宿中「声と指示をだす」をテーマに合宿に望みました。まず「声を出す」につきましては、野球をやる上で一番大事なことであり人に気持ちを伝えるにしても声の大きい、小さいでは伝わってくるものが違うと感ずます。今回Bチームは朝の練習メニューの中に取り入れ、中野コーチのご指導で、声の出し方、大きな声を出す事による気持ちの変化等を教えて頂きまして、選手達も合宿当初に比べだいぶ声が出せる様になり大変いい練習ができたと思います。次に「指示を出す」ですが、今まで試合等を観てきて思うのは、この一つの動作ができることで、勝敗に関係なく、とてもいい試合が出来ていると言う事であり、監督がいつも言われている「選手それぞれがキャプテンだ！」と思ってプレーする事により、指示を出す側・指示を受ける側が通じあい、同じ考えを持つことで、強いチームワークを築いていけると感じています。最後に、九州から転勤でこの名古屋の地で生活をはじめこのウエスタンズに息子ともどもお世話になり、選手を中心に代表をはじめ各チーム監督・コーチの皆さんの野球に対する情熱に心打たれ親コーチとして参加させてもらっていることに感謝し、微力ながら今後とも

協力させていただきますのでこれからもよろしくお願ひします。

### Cチーム 早田コーチ

今年の合宿は、天気にも恵まれ、今までで一番暑かった様に感ずます。大人の方が、いっぱい、いっばいで、子供は強いと感じた3日間でした。心配していた熱中症は軽いのはありましたが大きな怪我、事故も無く、3日間過ごす事ができ、監督、コーチ、保護者の方々、本当に御苦労さまでした。

又、Aチームの保護者様、事務局の皆様、グラウンド、宿舎の手配、レクレーションまで楽しくすごさせていただき、ありがとうございました。

さて、Cチームの合宿ですが、1日目はバッティング練習。藤井総監督に選手のクセ、フォームを確認していただきながらバットを振り続け、手の皮が剥けても、軸足、グリップ、前を大きくに注意し、振り続けました。宿舎に戻ってからは、ミーティング。マージンのとり方、守備のバックアップ、サインの確認など復習をし、1つ新しいサインも覚えしました。

2日目は守備練習。内外野に分かれ、グローブの出し方、ワンステップなど基礎から練習し、シートノック、レギュラーノック、盗塁練習、サインプレイを行ないました。

3日目の午前中はゲームバッティング。2日間の総仕上げ。新しいサイン、ヒットエンドランも織り込み練習しました。午後からは最大イベントの100本ノック。下級生から行い、全員100本取ることができました。いつもの練習では、「声を出せ」と言われて声を出す選手達が、自分達から100本ノックを受けている選手を励まし、応援することでチームワークの向上も図ることが出来たと感ずました。

合宿の次の週に試合があり、合宿の成果がはっきりと出た試合をしてくれ、監督、コーチも大喜びです。

よくよく考えると短い時間ですが、合宿で行なった内容を毎週行なっています。毎週行なっている事をバッティング、守備で1日ずつ使い、練習をしました。いつも、これだけ時間が取れるわけはありません。毎週の練習も時間を大切にし、より多く練習し、どんどん野球を覚えて下さい。そして、この中から、甲子園、プロ野球に行く選手が出ると、うれしいな！！

# A チームコーチより一言

## 小川コーチ

自分は、過去に自慢できる野球経歴が有る訳でもなく、秀でた指導能力が有る訳でも有りませんので、息子がウエスタンズに入団したとき、しばらくは練習のお手伝いをさせていただくことも有りませんでした。しかし、先輩親コ・チの後押しもあり、今ではピッチングマシン2号として図々しく練習に参加させていただいております。

余談ですが、毎週の投げ込みの成果で、40才を越えても「球が速くなった？球威が増した？」と所属する草野球のチームメイトから気持ち悪がられて居る今日この頃です。

さて、このコメントを皆さんが読む頃には暑さも和らぎ、夏に鍛えた成果が現れる頃だと思えます。それは技術的な上達はもちろん、精神的な事かもしれません。選手諸君は強くなった自分に気付いていないかもしれません。そして練習の度に監督・コ・チから「あれが悪い、これが悪い」と怒られ、自分達はいつまでも上達していないのでは？と疑問に思っているかもしれません。しかし、アウトや三振が取れても、ヒットが打てても「100点のプレ-が出来た！」と思うことがありますか？プロの選手でも100点満点のプレ-は無いのでは？と自分は思っています。

これはスポーツ全般にあてはまる事だと思えますが、完璧な回答がある算数などと違って、野球で100点満点が取れることはないと思えます。自分が上達しよう、もっと上手になりたいと思うかぎり99点が続くのだと思えます。そしてウエスタンズに居る期間はもちろん、中学(シニア等)高校と野球を続けていけば身体も大きくなり、技術的にも上達していきますが、怒られる(指導される)ことは無くならないと思えます。それは監督・コ・チから選手への「もっと上手になりたい！」という気持ちに対しての答えだと思えます。ウエスタンズの選手達はもっともっと怒られて、もっともっと上手になって欲しいと思えます。

話は変わりますが、僕の好きなプロ野球選手が「感謝」という言葉をよく使います。自分を取り巻く全てに感謝するというものです。当たり前のことだと思ってしまうかもしれませんが、あらためて全てに感謝する気持ちで接してみてください。グラウンドに感謝、ボール・グラブ・バット等の道具に、毎週朝早くからおにぎりを作ってくれる母に、そして自分の身体に感謝してください。自分の身体

への感謝の仕方が良く解らないのであれば「ご飯をたくさん食べて」身体にエネルギーを与えてください。練習がきびしくて食欲が無いかもしれませんが、ゼリ-とかドリンク等に頼らずに、母が作ってくれるおいしいご飯でお腹をいっぱいにして、強い身体を作ってください。ビタミン剤等のサプリメントやプロテイン等が良いように言われがちですが、身体のためには自然の食物から取る栄養が一番良いそうです。母達は栄養のバランスを良く考えて毎日のご飯を作ってくれているはず。好き嫌いせず、しっかり食べて強い身体を作ってください！それが自分の身体への一番の感謝になると思います。

最後に僕自身、肘を痛め野球が出来なかった時期があり、寂しい期間を経験しています。ウエスタンズの中にも異状を訴え、練習を休んだりお医者さんに通って治療している子供達も居ると思います。「それぐらいなら出来るだろう？」と思うかもしれませんが、痛みは本人にしか解らないと思います。中には、試合に出たいために痛いのを隠している選手も居るかもしれません。みんなで目を光らせて、今まで通りに細心の注意を払って向き合ってもらいたいと思います。子供達は身体が出来ると大事な時期です。永く野球が楽しめる人生にするために、故障をしないように基礎をしっかりと身につけてもらいたいと思います。「かっこいい？投げ方」や「プロのマネ」はいつでも出来ます。しかし、そのために無理をして故障して、悲しい思いをしないために、基礎だけはしっかりと身につけてもらいたいと思います。ちなみに僕の目標は「60才で現役(草野球ですが)孫と野球をする！」です。

終わりに、選手に一言！「欲張りになって、野球を楽しめ！」

## 選手紹介

このコーナーでは、これから入団する新入団員の紹介をいたします。

チーム	学年	氏名	学校名
C	4	平松 大暉	守山

# 8月の成績

## Aチーム

H19.8.4(土)  
フレンドリーグ

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタ ンズ	0	1	0	0	0	0	0	1
グレート ブザース	1	0	2	0	0	0	×	3

H19.8.4(土)  
練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
グレート ブザース	3	0	1	1	0	0		5
ウエスタ ンズ	0	1	0	1	0	2		4

H19.8.5(日)  
デポ杯 2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
篠原 ジュニア 野球クラブ	0	1	0	1	1	0		3
ウエスタ ンズ	0	1	0	0	1	0		2

H19.8.25(土)  
友好会 1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタ ンズ	0	3	0	0	1	0	1	5
志賀 インベル	0	0	2	0	0	1	1	4

H19.8.26(日)  
フレンドリーグ

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
西枇杷 ボールクラブ	0	0	0	1	0	0	0	1
ウエスタ ンズ	2	0	2	0	1	0	×	5

## Bチーム

H19.8.4(土)  
スポーツデポ2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタ ンズ	2	0	0	2	2	0	0	4
キッコロ ズ	0	2	0	0	0	0	0	2

H19.8.26(日)

練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタ ンズ	0	0	7	3	0	0		0
守山 ボーイズ	1	0	0	0	1	0		2

## Cチーム

H19.8.5(土)  
練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタ ンズ	0	1	1	1	2			5
平針HBC	3	0	0	0	2			5

H19.8.5(土)

練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタ ンズ	2	6	1	0				9
平針HBC	0	2	1	2				5

H19.8.25(土)

名古屋市スポーツ少年団3回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
有松 ジュニアズ	0	2	1	0				3
ウエスタ ンズ	0	0	3	1				4×

# 試合結果のまとめ

## Aチーム

友好会 2回戦進出  
デポ杯 2回戦敗退  
フレンドリーグ 1勝1敗  
(2勝2敗)  
練習試合 1敗

## Bチーム

デポ杯 3回戦進出  
練習試合 1敗

## Cチーム

名古屋市スポーツ少年団 準々決勝進出  
練習試合 1勝1引分け

# 9月の試合予定

## Aチーム

- 平成19年9月1日(土)  
練習試合  
対戦相手：P-boy s児玉
- 平成19年9月2日(日)  
スポ少 1回戦  
対戦相手：昇友クラブ
- 平成19年9月2日(日)  
フレンドリーグ  
対戦相手：富士シャーク
- 平成19年9月8日(土)  
友好会 2回戦  
対戦相手：ホワイトエンペラー
- 平成19年9月9日(日)  
フレンドリーグ  
対戦相手：ニューヤングイーグルス
- 平成19年9月15日(土)  
東海団地 1回戦  
対戦相手：知立ラバース

## Bチーム

- 平成19年9月8日(土)  
中京少年 1回戦  
対戦相手：蟹江マルス
- 平成19年9月9日(日)  
愛球リーグ  
対戦相手：イーグルスジュニア
- 平成19年9月9日(日)  
しらさぎ旗 1回戦  
対戦相手：グレートブラザーズ

## Cチーム

- 平成19年9月2日(日)  
しらさぎ杯 決勝トーナメント2回戦  
対戦相手：春日少年野球クラブ

# Aチーム母コメント

## <小川母>

監督・コーチ・父兄の皆様、いつもお世話になっております。小川郁生の母です。

郁生がウエスタンズに入団したのは、4年生の終わりです。初めのうちは、サインがなかなか覚えられませんでした。やっと覚え、ちょっとだけ試合にも出れるようになり、頑張って練習をしていましたが、今年に入り膝とかかかとが痛むように

なり、練習もほとんど出来ない状態になってしまいました。まさかこんなに長引くとは思っていませんでした。痛さは本人にしか解らないのだけど、私としては「本当に痛い？早く練習に参加してほしい・・・声ぐらいは出せるでしょう・・・なぜできないの？」と思い落ちこむこともあります。

今までに何度か「もう、辞めてしまったら？」と言ったこともあります。本人は今まで一度も「辞めたい」と言ったことはありません。それは野球が好きで、ウエスタンズの仲間が大好きだからでしょう。

今、反抗期のように母親の私が何を言っても耳をかしてくれませんが、私に出来る事は応援することしかありません。早く足が治り、思いっきり野球が出来ますように・・・それまでは、郁生が出来ることを一生懸命するんだよ！

## Aチームのみんなへ

みんなが、一生懸命野球をしている姿を見るのが大好きです。合宿や毎週の練習、毎日コツコツしている練習？！の成果でしょう、随分、力がついてきているなと思います。

これからも、沢山の試合に勝てるよう頑張ってくださいね！応援しています！

卒団まで、あと数ヶ月になりましたが、どうぞよろしくお願いします。

## <芝田母>

監督、コーチ、父母の皆様、いつも大変お世話になりありがとうございます。

Aチーム芝田大の母です。

3年生までサッカー少年だった大が父が野球チームに入っていたこともあり、野球に興味を持ち「野球チームに入りたい！」と言い出したのが3年生の夏頃。

私が出産前中ということもあり、出産後の4年生4月から正式に入団させていただきました。それからというもの我が家は、野球のために生活がまわるようになりました。今では、大だけではなく、父も私も「ウエスタンズ」にどっぷり浸かりきっています。本当に楽しいです。

練習を一生懸命やっている姿、立っているのも嫌になるくらい暑い中で顔を真っ赤にして練習する姿、ボールも握れないくらいの寒さの中で練習する姿・・・。ただただ「この子達ってすごい！」と思います。

大好きな野球を続けていく中で(どんなスポーツやその他のことでもですが・・・)好きだけでは

すまない時もありますよね。怒られた時、どれだけ練習しても上手にならない時、故障してしまった時・・・。

何かを続けて行く中でつらい事、壁にぶつかる事は、今後の人生の中でも必ずあります。その壁にぶつかっても乗り越えて行く力を大好きな野球で学んでもらえたらいいなあ。と思います。

今やっていることは、これからの人生絶対にどんな形でもプラスになると信じています。

たとえ今、結果が出ていなくても絶対にいつか芽が出る信じています。

だから、みんながんばれ！

後残り少ない大会を1試合でも多く勝ち進み、1試合でも多くみんなでプレーしている所を見せてください。

泣いても、笑っても残り後5ヵ月と少し！精一杯の力を出して楽しんで野球をやってください。

最後の最後まで応援していますヨ！

## お知らせ

次回10月号では、ウエスタンスの歴史・Aチームコーチ、母コメントを掲載する予定です。ご意見ございましたら編集事務局までご連絡下さい。よろしく申し上げます。

編集事務局 梅村

編集者 中野・森山・白木

## ウエスタンスの軌跡

### 転機

創立から10年余りの月日の中で基盤を作り、転機が訪れたのは1997年、ウエスタンスにはじめてCチームが誕生しました。柴原監督（現・愛知海の代表）を中心に親コーチ達で指導にあたりました。（今の監督・親コーチでの指導という体制がこの当時に出来ました。）しかしCチームの練習場所がなく、今の河川の東面を来る日も来る日も草取りをして作りそして生まれたのが13期生！初めてのCチームの大会、河村杯（現ゲオ杯）で、なんと優勝！ウエスタンスのはじめての優勝です。この13期生はその後もBで愛球会、Aで東海団地秋で優勝と、強いウエスタンスの始まりです。つづく14期生が2000年には、Aで初のメジャーな大会月刊ドラゴンズ杯・佐川急便杯（現スポーツデボ杯）と、友好会・山本杯と四大会を征し、歴史をつなぎました。

さて、今回は・・・輝かしいウエスタンスの戦績を辿ってみましょう。

・ ・ 来月号へ続く ・ ・